秋葉山の蝶㉟

ミヤマカラスアゲハ
（アゲハチョウ科）

学名 Papilio maackii tutanus Fenton

深山白蝶（ミヤマシロチョウ）、雲間端黄蝶（クモマツマキチョウ）のように、名前の最初に深山（ミヤマ）とか雲間（クモマ）などと付く蝶がいます。これらは普通、高い山の奥深くに生息しているというような意味合いで付けられています。

今回紹介する深山烏揚羽（ミヤマカラスアゲハ）は、名前からすると、深山幽谷にすんでいる蝶を連想しますが、秋葉山のような低い丘陵から山地にかけて広く見られます。

年2回、春と夏に発生します。翅には黒の地に青色に輝く鱗粉が散らされ、後翅裏面には外縁に沿って白帯が走っています。春型は、特に翅の色彩が発達し、日本で一番美しい蝶をきめるコンテストでも常に上位を占めています。蛹で越冬しますが、厳しい寒さが、この美しさを作り出すのかもしれません。

（佐藤良幸　本町4）

花の里情報

花き総合センターでは、一月五日（土）から春を呼ぶ新春の鉢花を展示・即売します。地元の花作り農家が生産した新津市特産の花木、鉢植えなどがたくさん用意されています。ぜひ、ご家族おそろいでお出かけください。

□開設時間…1月5日（土）からで、時間は午前9時～午後5時（日曜日、祝日も開設しています）

石油の里情報

石油の世界館では、現代版画展～中川一政を中心に～を開催しています。

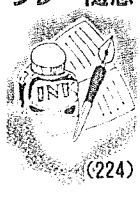
□開催期間…1月20日（日）まで

また、三月まで石油の世界館の入館料が冬期割引となっています。この機会にぜひお出かけください。

□入館料…一般250円、中学生150円、小学生100円

※石油の世界館と観光物産館は、一月五日（土）から開館いたします。

リレー随想 (224)



農閑期に想う

大安寺　昆茎

秋の穫り入れも終わり、家の庭に山茶花（さざんか）の花が咲く頃は、私にとって一番ホッと出来る季節です。兼業農家の主婦ですが、これから来年の三月まで「専業主婦」として自分の時間が多くとれるからです。やりたいこと、行きたい所がいっぱいです。習いごとにも専念したり、友達と旅行もしたい。また東京で生活している子供達の様子を見に行ったり、今まで忙しくて思うように出来なかった家事にも専念したい。考えると楽しくなります。

ところが、毎年のことですが、今年もまた気持ちのどこかに憂うつな気分が残るのです。私の家は八十㌃ほど耕作していますが、そのうち約二十㌃は減反です。簡単な帳簿をつけていますが、今年もまたコメの収入とそれにかかった費用を差し引くと残高ゼロになります。私の労賃は一銭にもならないのです。それでも農業を続けなければならないということはどういうことなんだろう。

私はもともと農家は好きではありませんでした。仕事はきついし、泥にまみれて働かなければなりません。皆さんはよく作物を作る喜びを感じるといいますが、正直言って私にはそういう気持ちがなぜか湧かないのです。兼業農家に嫁いで三十年になりますが、一体何のために農業をやって来たんだろう、何をしてきたんだろう、とつくづく思うのです。このことについて今まで何度も夫と話し合ってきましたが、諸々のことを考えると、どうしても人様に田んぼを任せることが出来ませんでした。結局「先祖伝来の田畑を守る」ということで自分を納得させながら今日まできました。

これからのコメをめぐる情勢は急速にきびしくなると予想されます。私も何年コメを作ることが出来るかわかりませんが、日本人の主食「コメ」はこんな兼業農家の人達がささえて来た様に思います。とり合えず来年の作付けのために田んぼの整地でもしておかなければ、などと考えているのです。

このバトンを新栄町の長谷川好明さんにリレーします。

新津市の人口

男	31,433（＋ 8）	11月30日現在
女	33,768（＋10）	（）内は前月比
計	65,201（＋18）	

世帯数 17,791（＋10）

11月中の動き

出生 46　死亡 29　転入113

転出112　結婚 37　離婚 3

お買物、ご用命は市内で

新年のごあいさつを申し上げます

ことしもよろしくお願い致します。

コーヒー祭り 100g 280円
1月は11日(金)、12日(土)、13日(日)の3日間

ケーキとコーヒーの店
たいつ　ボーサカヤ
本町2　☎(22)-0112